

令和2年度第1回基山町総合教育会議

(要点筆記)

日 時：令和2年9月29日（水）午前9時30分～午前10時45分

場 所：基山町役場 4階大会議室

出席委員：5人

松田町長、柴田教育長、田口委員、津川委員、福永委員

欠席委員：1人

亀山委員

事務局：8人

総務企画課：熊本課長、原係長、則本主任

教育学習課：井上課長、音成教育指導主事、山内教育指導主事、酒井係長

定住促進課長：亀山課長

傍聴者：3人

1 開会

2 町長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議題

(1) 学校規模の適正化について

(2) GIGAスクール端末導入へ向けての進捗状況

(3) 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

(4) 基山町教育大綱第2期の改正について

5 その他

6 閉会

1 開会

事務局進行

2 町長あいさつ

省略

3 教育長あいさつ

省略

町長が議長となり進行

4 議題

(1) 学校規模の適正化について

(事務局より井上課長が資料を説明。)

・(町長) 資料の1.学校規模の適正化について(3)検討課題の、現3年生43名(32名+11名)の解消が、うまくできなかった場合の対応とあるがどういう意味か。

・(教育長) 特に現3年生については、クラスが今でも一杯一杯の数ですが、例えば41名以上とならずに40人+15人で1学級のままとなる可能性がある。

・(町長) 他の学年も1学級なので、人数が増えるだけで学級が2つに分かれないというのは他の学年も同じである。

・(教育長) 現3年生も学校のTTが1枠あるので、あと4人増え36人になれば、TTを外せば、2学級に増やせる。その代わりに、算数TTがいなくなり、担任以外の先生と一緒に教えることができなくなる。

・(町長) 新4年生が4人増えれば、2つのクラスに分けることができる可能性があるということですね。他の学年についても、あと何人増えればクラスに分けることができるか各学年きちんとチェックが必要。また、特認校に行ってもいいという方にも色々な事情があるため、細やかな対応が必要。

・(委員) アンケートの結果で、47名の同意する方がいるということで、期待が持てるという判断で進めているが、子どもの気持ちをしっかり考え、進める必要がある。

(2) GIGAスクール端末導入へ向けての進捗状況

(事務局より音成教育指導主事が資料を説明。)

・(町長) 自宅にオンラインの環境がない家庭へのサポートについてはどのような状況か。

・(事務局) 1割程度の家庭がW i - f i の環境がない状況。環境整備のために補助金申請をしている。具体的にはルーターを町が購入し、貸し出すような形となる。通信料について補助の対象外のため、そこへの対策を検討している。

・(町長) 国に申請し、予算は既に付いているのか。

・(事務局) 既に内示は受けている。補助の対象となるのが、準要保護や要保護の家庭である。

・(町長) 準要保護とかでなければ、自分で整備となるのか。

・(事務局) 町が保有しているものを貸し出す形を想定している。

・(町長) 使用料は町に請求がくる形になるか。

・(事務局) 回線契約については、別途契約となる。今後検討していく。

・(委員) 家庭学習で使う容量があまり大きくなければ、テザリングで解消するのは。契約の容量を超えた場合、そこを保障してやればよいのでは。そうすれば機器を購入する必要もなくなる。

・(委員) パソコン学習は書くことがおろそかになり、子どもの成長過程での根本の教育がおろそかになる恐れもあり、うまく活用していく必要がある。

・(事務局) 今後使用頻度は徐々に増えてくると思われる。書くことは必要であるため、うまく活用していきたい。

(3) 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

(事務局より山内教育指導主事が資料を説明。)

・(委員) P C R検査を受けられる医院の情報があれば、お知らせいただきたい。

・(町長) 県も受けられる医院の公表はしていないと思う。公表できるものであれば、公表をしたらよいと思う。県は検査から、治療までの体制を佐賀県が主導で、一連の流れをとっている。いろいろなルートを作りたくないのではないかと思う。

・(委員) 対策はしっかり取ってもらっているが、他県へ行くときに、検査が必要な場合があり、そういった対応も目にみえているといいと個人的に思う。

(4) 基山町教育大綱第2期の改正について

(事務局より熊本課長が資料を説明。)

- ・(委員) 改正し今回の追加をしていただいた方がよいと思う。特に学校規模の適正化については、保護者の中でも良く話になるため、今後議論していく項目になると思う。
- ・(町長) G I G Aスクールについては、教育大綱中の I C T利活用の項目で十分ということによろしいか。
- ・(事務局) 教育大綱中の I C T利活用の項目により、G I G Aスクール事業を実施していると考えている。
- ・(町長) 改正案について、承認ということによろしいでしょうか。
- ・(委員) (異議なし)
- ・(町長) 改正案について、承認します。

5 その他

- ・(町長) 福岡のN P OでいるかねっとというN P Oがあり、佐賀県の基金事業を使って基山町を舞台に事業をスタートしている。保育園、小学校の子どもを対象に、4年前から4歳児検診を基山町独自に行い、4歳児での特徴的な部分を見定め、少しでも保育園での時代に対応することで、いい方向に導けないだろうかということが保育園の事業で、これにより、小学校に入り、特別支援学級にという児童が通常学級に行けるようになればと思っている。小学校、中学校でも事業を行っていこうということで、小学校4年から6年を対象に、希望のあった、9区、10区、11区、13区の公民館と若基小学校で塾をやる。現在のところ、騒いだり、落ち着きがないお子さんは一般の塾が受け入れられないような状況で、今回の塾は、そのようなお子さんも受け入れるし、塾の費用が負担になるような家庭も受け入れる。一般募集なので、どなたが来ていただいても良い。10月からスタートする。

6 閉会

(その他意見がなかったため町長により閉会する。)

～10時45分閉会～